

## 府中市生涯学習審議会（平成26年度第7回）会議録

1 日 時 平成27年1月26日（月）午後2時～4時

2 会 場 府中駅北第2庁舎 4階会議室

3 出席者

(1) 委員13名（50音順）

石田和男委員、井上治男委員、大谷久知委員、川内清文委員、木内直美委員、  
茂田嘉彦委員、設楽厚子委員、芝 喜久子委員、鈴木映子委員、  
田野倉晴美委員、寺谷弘壬委員、三宅 昭委員、山内啓司委員

※小林 繁委員は欠席

(2) 職員3名

矢ヶ崎生涯学習スポーツ課長、目黒学習推進係長、大木事務職員

4 開会

5 連絡事項

(1) 配布資料の確認

- ①第6回生涯学習審議会会議録、②「とうきょうの地域教育」NO,118、
- ③ニュースレター NO,16（全国社会教育委員連合）、④トリターマ 第25号、
- ⑤四谷さくら公園ワークショップ ニュースレター 第2・3号

(2) 議事録の確認

第6回会議録（案）について、市民に公開することが了承された。

6 審議・協議事項

[意見の趣旨] ■：委員 ➡：事務局

(1) 答申案の検討について

- 事務局より答申案が送付された。まず1ページから文言や内容について、ご意見をいただきたい。
- 「注」の番号が通し番号になっているので、訂正していただきたい。
- ➡ 「注」については訂正する。「はじめに」の2段目の最終行「低減」を「提言」に修正する。
- 3段落目の2行目「重要なことと考える」は「重要と考える」で良いと思う。ま

た、6段落の1行目「生涯学習推進に係る」の「推進」を削除し、その後の「展開」を「推進」に替えてはどうか。

- (一同了承)
- 2ページはいかがか。
- (2) 4行目「添加」は「展開」に訂正する。
- (1) 4行目「既存の活動ら」は「既存の活動等」に訂正する。
- 内容の趣旨が変わっている部分があれば、ご指摘いただきたい。
- (1) 3段落目が一文になっているので、どこかに読点を入れたい。3行目「ネットワークの構築につながる。」で切りたい。
- (2) 5行目「展開しいてる」を「展開している」に修正する。
- 3ページ目はいかがか。
- (3) の下から2行目「生涯が学習」を「生涯学習」に訂正する。
- 4ページ目はいかがか。
- 最初の表題「～ファシリテーター」のサブタイトルを改行し、ポイントを小さくする。他のページと同様にする。
- ➔ 冒頭文の最終行「機運」を「気運」に訂正する。誤字ではないが、ニュアンスが少し違う。
- その1行上に「担い手ら」を「担い手」に訂正する。
- (1) 2段落目の2行目「個人とつながりを持つ」を「個人とつながりを持ち」に訂正する。
- 冒頭文に「市民をファシリテーターとして位置づけ」とあるが、インパクトは強くて良いのだが、これを位置付けてしまっているのか。
- 文章的に削除してはどうか。
- ➔ (1) から(4) のまとめのつもりで書いた。生涯学習の推進役は行政だけではないというニュアンスを出したかった。
- 育成するとかやわらかい言い方でも良い。
- 「市民をファシリテーターとして育成し」
- 「市民をファシリテーター要員として位置づけ」にすると選択肢が広がる。
- ➔ 「ファシリテーターとして活動する市民を育成し、」にしてはどうか。
- (一同了承)
- 5ページ目はいかがか。
- (2) と(3) をまとめたので、付番を正しくする。
- 「学び返しセンター」の項目を削除した経緯について、事務局よりご説明いただきたい。

➡ 大項目として「生涯学習の担い手」としているのに、「学び返しセンター」という名称は府中市にとってはハードルが高く、必ずしもその施設が必要という意味で書かれてはいないと思うが、新たなセンターを作るというのがマンパワー的にも非常に厳しい状況である。市役所ではここ14年間で2割以上の人員を削減しているので、人員を確保するのが難しい。行政の立場では校正案を書きづらいので削除させていただいた。

ただ、「学び返しの大勢づくり」の「相談窓口の機能・大勢の充実」に市職員がこういう機能を担っていくということを書いているので、それに替えさせていただきたい。

■ (一同了承)

■ (4)のタイトル「学習センター」は「生涯学習センター」に訂正する。

■ 6ページ目はいかがか。

■ (1)の1行目「実践しようとしたりしても」は「実践しようとしても」が良いと思う。

■ (1)2段落目「社会教育関係団体等であっても」の文章は厳しいことを書いている。

➡ 厳しく判断する文化センターでは、不特定多数が参加する講演会等は許可していない。もともと社会教育関係団体の無料使用は自主的な学習活動という建前があり、そういう慣習が40年程続いている。文化センターでは、講師が主体の教室を開くのは許可できないが、自主的な活動に講師を呼ぶのは許可している。何が違うのか見た目では分からない。

■ (1)最終段落「市民協働を推進するためには」を「市民協働につなげるためには」に訂正する。

■ 7ページ目はいかがか。

■ まずは、図書館の本の貸し出しについて事務局から説明をお願いしたい。

➡ 図書館に確認したところ、図書館へ出向けない高齢者等に届けるという取り組みは、既に宅配ボランティアを組織して制度化されている。また、ボランティアに頼った制度で、少数のボランティアしかいない現時点では、規模を拡大するのは難しいということだった。既に制度化されているので削除させていただいた。

■ (一同了承)

■ 4行目「教育施設のそ管理コスト」を「教育施設の総管理コスト」に訂正する。

■ 下から2行目「管理方法」とあるが、管理するだけではないので、「管理運用方法」の方が良いのではないか。

➡ 役所ではよく「管理運営」と言うので、「管理運営方法」にさせていただきたい。

- (一同了承)
- ここも句点が多いので、下から3行目「推進につながる可能性もある。」で切りたい。
- 8ページ目はいかがか。
- (1)の3行目「ヤングアダルトルーム」は一つの「書架」なのか。
- ➔ 一般的には「ヤングアダルトコーナー」という名称を使っているのですが、そういう場所では「書架」が良いと思うが、府中市の場合は部屋が作られているので、「スペース」と言い換えても良いかもしれない。
- 冒頭文の2行目「十分用意されていない」と言っているのか。生涯学習センターの地下でも若者は音楽活動等していると思う。
- 「十分に用意されていない」に訂正してはどうか。
- (一同了承)
- (3)の最終行「推進する工夫を進める」という文章の末尾を変えた方がよいと思う。
- 「工夫が成されるべきである」はどうか。
- (一同了承)
- 9ページ目はいかがか。
- (2)の最終行「雰囲気」は良くないので、「環境」とかそういう言葉の方が良いと思う。
- 「環境」が良いと思う。
- 「醸成されていかなければならない」を「醸成されていくことが望ましい」にしてはどうか。
- (一同了承)
- 10ページ目はいかがか。
- (4)は(3)に、(4)は(5)に訂正する。
- (3)の最終行「向上につながっていく」と断定しているので、「向上につながっていくはずである」に訂正する。
- (3)の2段落目「情報を集めることで」を「情報を集めるために」の方が良いと思う。
- (3)のタイトルについて、「生かし」の後に句点を追記する。最後の「機会を創る」だけ動詞で終わっているため、名詞で終わらせた方がよいと思う。「機会を創る」を「機会を創生」にしてはどうか。また、6ページ(2)のタイトルも「将来展望を明確に」を「将来展望の明確化」にすると統一できる。
- (一同了承)

- (7) と (8) について、事務局よりご説明いただきたい。
- ➡ (7) については、前述しているので削除した。新たにセンターを置くのはハードルが高く、生涯学習スポーツ課の職員がその役割を担うと述べているので、改めて記述はしないことにした。(8) については、南口再開発ビルについて市民協働推進の拠点で、教育委員会の所掌事務ではないので、記述するのは難しい状況にある。「生涯学習と市民活動を区別することなく市民は実践している」という文言を追記したのでご理解いただきたい。
- (一同了承)
- 2 ページ (1) で「当面に間、市が担うべきであり」とあるので、「将来的には市民との協働の場とすることとする。」という一言を入れたい。
- 「今後の展望」の後に「おわりに」を追記したい。「はじめに」の最終段落を「おわりに」に追記して肉付けしたものを入れても良いか。
- 今回の諮問は「振り返りと今後の展望」なので、最初に「振り返り」と入れる必要はないか。「今後の展望」は入っている。
- 「振り返りと提言」と入れた方が良い。
- また、答申のタイトルを付けたい。次回までの宿題ということで、何か良い案を考えてきていただきたい。

## 7 次回審議会等の日程について

### ▽第8回審議会

日程：平成27年3月2日(月)午後3時半～5時半

会場：府中駅北第2庁舎 4階会議室

以上